



秋商、歴史と伝統つなぐ

100周年記念式典、節目祝う

秋田商業高校（瀧澤徳彦校長、693人）の創立100周年記念式典が21日、秋田市新屋の同校で開かれ、在校生や学校関係者ら約760人が節目を祝つた。

瀧澤校長は「先輩たちの歴史と伝統の重みをしっかりと受け継ぎ、秋田商業高校の生徒としての誇りと自信を持つて勉学、部活動に励んでほしい」と述べた。

生徒代表の須藤哲平さん（3年）は「新型コロナウィルスの影響で、当たり前だったことが当たり前でなくなってきた時代の過渡期に、先輩方の思いを受け継ぎ、次の世代につなごことを責務と考え決意を新たにしている。新たな歴史への一步を力強く踏み

出し、これからも母校の発展に貢献していく」と述べた。
卒業生でミュンヘン五輪レスリング金メダリストの柳田英明さんによる記念講演も行わされた。
同校は1920年に秋田市に現在の校名に改称。これまでの卒業生は2万1715人。昨年創立100周年を迎えたが、新型コロナの影響で式典を延期していた。

（富権幸恵）